



campus
communication

ゼロリ No. 28
1997

中村学園大学
中村学園短期大学

広報誌

上海中医薬大学の学術協定に基づく 研究員の派遣プログラムを終えて	P 1
薬膳の道	P 2
9年度就職状況	P 3
管理栄養士国家試験	P 3
指導主任・副主任研修会、教育ワークショップ開催	P 4
公開講座を終了	P 5
キャンパス公開を開催	P 5
学科紹介(児童学科・幼児教育科)	P 6
ユングフラウヨッホ	P 7
海外文化・語学研修	P 7
青少年の翼に参加して	P 7
小児糖尿病サマーキャンプ	P 8
なぎなた部全国大会で優勝	P 8
元気なサークル	P 8
サークル加入状況	P 9
学友自治会から	P 10
もうすぐ学園祭	P 10
平成8年度決算報告	P 11
平成9年度科学研究費補助対象研究が決定	P 13
アジア栄養科学ワークショップ開催	P 13
教職員の動き	P 13
特別講座「プロの料理人による料理示範」	P 14
海外出張の記録	P 14

コラム

「子どもの心」	/ P 4
「広く世界に目を向けて」	/ P 6
「健康生活のススメ」	/ P 12
「1冊の本」	/ P 14



上海中医薬大学、薬膳教室にて(左から三番目が筆者)

TOP NEWS

薬膳の道

上海中医薬大学で一年間研修して

助教授 三成 由美

TOP NEWS

上海中医薬大学との 学術交流協定に 基づく研究員の派遣 プログラムを終えて

学長 山元 寅男



今後の本学における薬膳研究の 企画開発に向け大きく前進

昨年二月(中国)上海中医薬大学と本学は学術交流に関する協定を締結した。この協定の二つに、研究者の相互派遣というのがある。本学はこの研究者派遣プログラムとして、本学の三成由美助教授を上海中医薬大学に派遣し、「薬膳学」の基礎研究をさせて貰うよう提案した。先方大学は本学の提案を直ちに受け入れ、昨年八月に三成助教授を派遣したのである。

以来本年七月に帰国するまで、三成助教授は、多くの困難にもめげずに、中医学、中薬学、方剤学、食療学、診断学、中薬製剤学等を学び、研究し、多大の成果を挙げ帰国した。一方、上海中医薬大学からは、組織胚胎学教研室から王奕研究员が本学に派遣され、大学院栄養形態部門(山元寅男教授)において、平成八年九月から平成九年九月まで、電子顕微鏡学及び酵素組織細胞化学の研究に従事した。

中国の伝統医学と西洋医学との合作、融合を学術交流の目的の一つに掲げ、その実施に至ったものである。王研究员も不馴れな日本語にも拘わらず、熱心に技術の習得に励み、帰国時には大きな成果を挙げることができた。今後は、上海中医薬大学において本学で習得された研究手法を活用され、中国医学と西洋医学との融合に貢献されることを願っている。

また、本学滞在中、多くの先生方

との出会いもあった。多くの日本の友人との交流も、王研究员によっても得難いものとなつたにちがいない。この学術交流の小さな経験を通して、本学と上海中医薬大学との学術交流、さらには、日中友好、相互理解の進展に助力して頂くよう願うものである。

この第二回教員交換プログラムは成功であった。今後とも、この学術交流は継続して行われるものであるから、第一回のプログラムの経験に照らして、どのようなプログラムを実施していくかを考えていきたい。この協定には、学生の交流も含まれているので、本学で薬膳学の授業がカリキュラムの中にとり入れられるようになれば、学生の上海中医薬大学での短期研修も可能となるであろう。また、教員による相互交換授業等も可能な限り考えていく必要があるだろう。いつれにしても、両大学間で協議しながら、学術交流の実を挙げていきたいと願っている。



上海中医薬大学名誉教授就任式にて(右側は三成助教授)

人間の健康は自然の道理に従った食生活が必要であることを痛感

成人病が生活習慣病といわれるようになり、ますます食生活が健康の保持・増進に重要であることが認識され始めました。現在、このような食への健康指向のこの現象として、中国を起源とする薬膳が注目されています。しかし、薬膳の基礎理論、応用面に関する知見は少なく、健康増進に十分利用するには至っていません。

今回、日中友好二十五周年、香港返還と今世紀最大のイベントが行われた一九九七年に、大学の学術交流協定に基づき、中国上海中医薬大学へ薬膳を学ぶ為に二年間研修させていただきました。心より感謝し報告させていただきます。

保持・増進を大学で教育・研究指導できる担当者が少ないのが現状でした。研修の合間に薬膳の食材である食療・食療中薬について検討してみました。中国でも食療・食療中薬を食性・五味・経絡・主治・効能などの観点で分析した報告はなく、私のデータが最初になりました。

分析した二百八十五品の食性をみると、平性の食品が三六・五%と最も多く、味では甘味の食品が六九・八%と高値を示し、経絡は脾胃が高い数値を示していました。

中国では大学に国家が学制として認めた薬膳学部はなく、伝統医学を学ぶ大学に、選択科目の食療学概論が唯一あるのみでした。食を通じて健康の保持・増進を目指す私に、大学の教授から推薦された分野は、
中医学 中薬学 方剤学
食療学 診断学 中薬製剤学

と病気になるといわれています。その調整する機能をもつのが薬膳であり、中医では人間の栄養は脾と胃の関係が深く、五行学説で甘味が脾胃と関係があるといわれています。これらの結果からも、薬膳は中医の基礎理論と引き離せないといえます。

人間が健康を保つためには、自然の道理に従った食生活が必要であることが痛切に感じられました。

食療学 針灸師、薬剤師を養成するもので、当然、調理学のカリキュラムはありませんでした。調理技術を習得し、食を通して健康

人間が健康を保つためには、自然の道理に従った食生活が必要であることが痛切に感じられました。

最後に、この研修の際に「配慮頂きました中村学園大学、上海中医薬大学の先生方に心より感謝致します。」



平成9年度・就職状況(中間報告)

事務系就職中間報告

当初今年度の就職予想において一部では採用スケジュールが多様化する
ため就職戦線は早期化・長期化する
との予想が新聞紙面を賑わせた。
しかし、結果的には求人が前半に
集中したものの九月時点でみるとほ
ぼ昨年水準になりつつあります。
短大事務系希望者の九月末日現
在の内定率は三八・六%となっており
ます。一見低い数値と思われるかもし
れませんが、昨年とほぼ同じ水準であ
り、三月卒業時点では昨年同様九〇
%以上の内定率を見込んでいます。
なお、今年度は若干の景気回復感か
ら採用を復活する企業が多数ある反

面、女子採用特有の欠員補充的求人
が今後も予想されます。
なお、大学三年生短大二年生に対
しては、就職説明会を十一月から今
一トしますので、学生課をフルに活用
し早めの準備を心掛けて下さい。
栄養士関係就職中間報告

栄養士及び管理栄養士等の免許
を活かした就職には特性があります。
それは、欠員補充」の形で求人が
出されるという点です。従って、就職
協定廃止に伴う影響はほとんど関係
ないと言えるでしょう。今年九月末現
在で七十二件の求人があり、昨年同
時期の六十一件と比較して八%増と
なっていますが、これも協定とは無関



食品会社並びに事業所など、一般企
業からの専門職の求人については「
クは過ぎよう」としていますが、欠員補
充的求人は、今後も予想されます。
また病院・保育園施設は例年、九月
頃から求人本格化する傾向にあり、
栄養士系の就職はこれから本番です。

幼保系志望の学生は、夏期は施設
実習(正規)や自主実習を行い、十月
に最後の幼稚園実習(正規)を控えて
いるため、この中間報告をお読みにな
る頃がいよいよ就職内定へ向けての
活動が本番となります。

管理栄養士国家試験

合格率二九・九%の難関に対し、本学管理栄養士専攻は、九七・八%が合格

五月二十五日に実施された第十二回
管理栄養士国家試験の合格者が六
月十六日に発表された。今回の受験
者総数は三万三千六百八十八名、合格
者総数は五千四百六十四名で、合格
率は二九・九%だった。

本学の食物栄養学科管理栄養士
専攻の今年三月卒業生は九十名が受
験し、八十八名が合格した。

また、食物栄養学専攻では今年三
月卒業生十名を含め、十六名が合格
している。短期大学食物栄養科に
ついては、卒業後二年以上の実務経験を

経て受験資格が得られるが、五十七
名が合格している。合格者氏名は次
の通り。なお紙面の都合上、今年の卒
業生のみを掲載する。

(敬称略)

- 〔食物栄養学専攻〕
- 高崎佳美・若菜 香・樽 玲子
- 池末恵美・西山朋美・生野寿加子
- 佐野志帆・庄野由希子・古堅 守
- 高橋香織・武井和美

- 〔管理栄養士専攻〕
- 堀之内潤子・谷口俊光・清野倫子
- 永野純子・松尾暢子・重松希代子
- 堀田利香・村上美加代・市岡靖代
- 前田真寿美・武本京子・上野夏子
- 田上仁奈・松隈裕子・居倉真紀
- 日巻重代・小賦優子・宮崎明子
- 池田 綾・石山幸代・伊藤美穂
- 梅森亜紀・林 弘子・天野雅之
- 的野茂子・松田舞子・松岡佐織
- 重重恵子・来島礼子・宮本睦子
- 石田清美・間部 薫・野村裕子
- 前田智美・浦上綾子・廣橋由佳
- 小島陽子・日高ふみ・佐々木郁子
- 松本ちさえ・藤 愛子・城本敬子
- 八波智子・宮永朋子・前間真弓

- 泉谷幸子・横手珠美・福永麻里子
- 河浪晴香・本田道代・山岡千恵
- 岩井祐子・河野美樹・次郎丸敦子
- 日野明日香・勝瀬晴代・遠藤みゆき
- 橋口裕子・有留麻紀・大竹直美
- 小野加恵・林 美樹・竹下由希
- 小関真由美・坂井美和・古賀弥生
- 大見亜希子・橋本千依・船津静香
- 福田知美・溝上聡子・永野智美
- 中川登輝子・森口雅世・朱 小偉
- 山崎里美・國友由紀子・立石蘭美
- 濱田裕子・松田直子・濱本百合子
- 木下由里子・山下麗華・坂本小綾香
- 小田由美子・前間朋子・灘 こず恵
- 西島ちさと

指導主任・副主任研修会及び 教育ワークショップを開催

新しい教育目標・カリキュラムについて



指導主任・副主任研修会

平成九年度指導主任・副主任研
修会と第四回教育ワークショップが
九月九日に開催された。

今年ほどどちらも教育目標に関連
した内容で、本学教職員が参加して
行われた。

指導主任・副主任研修会では、理
事長講話に続いて、望月研吾氏九
州大学教育学部教授が、「イギリス
の大学における学生指導について」
という演題で、イギリスの大学改革、
教育評価のしくみと実際、教員と学
生の意識、学生と学習について実例
を挙げて講演された。

また、今回は、パネルディスカショ
ンの形式で、「平成十年度以降の本
学指導主任・副主任について、新しい
教育目標から期待すること」という

テーマで各学科から発表があり、指
導主任・副主任の果たす役割や今後
の課題について活発な討議がされた。

続いて午後から開かれた教育ワ
ークショップにおいては、「各学科・科の
新教育目標と新カリキュラムについて
教育目標達成に向けての方策提
案」というテーマで行われた。

全体会は、各学科から、新教育目
標を達成するためのカリキュラムにつ
いて発表された。

また、本学管理栄養士専攻の学生
坂巻路可さんから、英国における大
学教育について、英国留学を終えて
の報告がされた。



教育ワークショップで報告する坂巻路可さん

【子どもの心】

25

児童学科・幼児教育科
講師 松尾智則

子どもたちは純粋で素晴らしい心を持
っているとよく言われますが、何よりも子
どもたちは好奇心の固まりです。自分の身
の回りにいる人々や物事に精いっぱい
のアンテナを張り巡らせて、そこでため込
んだ知識や経験の中から自分独自の世界を
作っていきます。大人からは一見奇妙に見
える子どもたちの言動も子どもたちが体
験し、身につけた知識を総動員して作り上
げた合理的な反応といえます。

私たちは子どもたちが優しく、賢く、たく
ましく育っていくように教育制度を整
備し、そこで好ましい環境を提供してい
こうと努力していますが、子どもが生きてい
く世界は幼児教育や学校教育という狭い
範囲を超えて人間社会全体に広がってい
ます。子どもたちは常に私たち大人社会を
注目しています。つまり、子どもたちがど
う育っているかは幼稚園や学校でどんな
内容の教育を受けたかだけでなく、私たち
大人がどんな暮らしをしているかと切り
離して考えることはできません。

私はしばしば調査で韓国などアジアの国々
を訪れます。アジアの国々の幼児や小学生
に接すると日本の子どもたちと比較して
恥ずかしがりながらも落ちついた人懐こ
い反応を示します。そしてその周りには
大人たちも日本人以上に優しく温かい気
持ちは他人に優しいのでしょうか？たくま
しく生きていますでしょうか？健全な判断を
する賢さを備えているのでしょうか？



第24回公開講座終了
キャンパス公開を開催

健康・人間科学の視座から 生命(いのち)を考える

第二十四回公開講座終了

平成九年度の公開講座が九月六日
十三日二十日の三回にわたって開催
された。

第一回と第二回は、高齢化に伴う肉
体的な問題として、「高血圧について」
と「骨粗鬆症について」を取り上げ、第
三回は現代の子どもの若者にみられが
ちななくましく主体的に生きる力の
欠如を取り上げ、「子どもと教育の視
点から」というテーマで行われた。

八十二名の受講者は医療栄養保育
福祉・学校教育等の専門家からの提
言を受け熱心に受講し、最終日には
学長から修了証書が授与された。



回	月//日	時間帯	題目・講師
1	9 / 6 (土)	13:00 ~ 13:15	開講式・オリエンテーション 学長 山元寅男
		13:15 ~ 16:15	「高血圧症について」 座長 教授 水上 茂樹(生化学) 教授 中村 元臣(循環器内科学) 教授 伊藤 和枝(臨床栄養学) 九州大学医療技術短期大学部 教授 上田 一雄(内科学)
2	9 / 13 (土)	13:00 ~ 16:00	「骨粗鬆症について」 座長 教授 廣畑 富雄(公衆衛生学) 教授 山藤 圭子(生化学) 教授 城田 知子(栄養指導論) 助教授 松隈 紀生(調理学) 鳥飼病院 栄養科長 高月サダ子(管理栄養士)
3	9 / 20 (土)	13:00 ~ 16:00	「子供と教育の視点から」 座長 教授 梅埜 國夫(生物学) 教授 福田 靖(人間関係論) 助教授 岡本 健二(社会福祉) 助教授 真野 素近(理科教育) 講師 原 由美子(小児保健学)
		16:00 ~ 16:15	閉講式・修了証書授与 学長 山元寅男

キャンパス公開を開催

過去最高の一四〇〇名が参加

受験生とその保護者を対象とし
たキャンパス公開を八月二日(土)に
開催した。天候にも恵まれ当日は
受験生約千二百名、保護者も合わ
せると千四百名が本学を訪れ、過
去最高の参加者となった。

キャンパス公開では、本学への理
解を深めてもらうため、施設・寮の
自由見学を始め、教職員・在学生と
の個別懇談、学校紹介ビデオの上映
や模擬講義などを行っている。

特に、各学科別に午前と午後の
二回行われた模擬講義は、普段は
体験できない大学の講義が受けら

れるとあって大好評であった。その
内容は次のとおり。

- 食物栄養学科・食物栄養科
午前 どんぶんの調理性
夏の冷菓「くずまんじゅう」(楠喜
久枝教授)
- 午後 「食品学 私たちと食べ物」
(橋本俊二郎教授)
- 児童学科・幼児教育科
午前・午後 「心理学(錯覚と鏡
映描写による体験学習)」(吉川昌
子講師)



立ち見が出るほど盛況だった模擬講義

「次の世代」のために

児童学科・幼児教育科長 権藤興志夫

「私が教育者として最後に残すも
のは、児童学科しかない」と結論に
達したのです」という学園中村八
川先生の強い意志に基づいて昭和四
十年の中村学園大学開学と同時に
児童学科が開設されました。

全国でも数少ない児童学研究の
学科として苦難の時代を経ながら
も発展を遂げ、昭和五十年には
定員を百名に増員しました。さらに
昭和五十四年度からは幼児期の福
祉と発達を対象とし、幼稚園教諭一
種免許と保育資格が取得できる「児
童学専攻」と学童期を対象とし、小
学校教諭一種免許と幼稚園教諭一種
免許を取得できる「児童教育学専攻」
の二専攻(定員各五十名)に分離し
現在にいたっています。



の実践を統合する場所として大学
付属あさひ幼稚園(昭和四十二年開
園)・吉岐幼稚園(昭和五十四年開園)

が設置され、大学の教育・研究や地
域の幼児教育に貢献しています。
小学校教諭を目指す児童教育学
専攻においては、開設以降五六〇名
余りの小学校教諭を送り出してい
ますが、残念ながら近年の少子化に
伴う教員募集の激減の影響を受け、
就職状況は厳しくなっています。し
かし、「教職特別講座」と呼んでいる
教員採用試験対策授業を特別に実
施するなど、熱意ある学生を応援し
ています。また平成九年からは卒業
生の組織として「燎倫会」が誕生し、
卒業生と大学の関係をより深いも
のにしています。

幼児教育科は大学児童学科の四
年間の実績の上に昭和四十四年に
中村学園短期大学最後の学科とし
て開設されました。幼児教育科では

幼稚園教諭一種免許と保育資格が
取得できます。その後、理論と実践
の統合を目指して教育の質の充実に
努めるとともに定員も二百四十名
に増員しています。

現在では西日本有数の保育系学
科として高い評価を受けています。
卒業生たちも福岡県のみならず、
九州・山口等の各地で幼稚園教諭や
保育士として活躍するなど、就職状況
も極めて良好です。

今後さらに、児童学科、幼児教育
科とも一層の充実を図り、新しい時
代の教育・保育者を養成するために、
学生の主体的な学習能力を高める
ことを大きな柱としたカリキュラム
改革に現在取り組んでいます。

広く世界に 目を向けて

2

家政科
助教授 森戸政信

戦後50年、日本人は、アメリカ・パラダ
イズムの幻想にとりつかれた。「自由」「富裕」
の金科玉条は神棚に奉納された。だが、人々
の画一的行動は、時として、外国人の目には、
「集団的狂気」とも誤映する。人々は、目先・
鼻先を争う激烈な競争を行い、幻の出口を
目指して殺到する。この幻夢は、人々の努力
により、高度成長として、ある程度実現
された。だが一方で、受験戦争・企業戦士の
マイナス文化も発生させた。

さて、パラダイズムの夢覚めやらぬ今日、
戦後50年の節目を経て、各界で雨後の竹
の子のごとく、改革論議が流盛を極めている。
戦後忘却されてきた「心の教育」が、教育改革
論議の中で最近力説されている。一例を
挙げれば、本コラム欄でも、公共場面での
日本人のマナーアップの重要性が指摘され
た。日本人のマナー問題は、個人レベル
に止まらない。最近、証券・銀行等の企業不
祥事が相継ぐ。企業の倫理性・公共性が問
われている。

今日、各界で再び競争原理が提唱されて
いる。この原理の生みの親、A・スミスは今
スコットランドの首都エジンバラ郊外、チ
ャーチ・ヤードの教会の墓地に眠っている。
スミスはどのように「復活」するのだろ
うか。多分、彼は「私は元来、道德哲学者で
ありガリガリ亡者の節度無き競争を絶讃
した覚えはない」と、微笑しながらも、苦言
を呈するに違いない。世は、今、国際化の時
代と言う。広く世界に目を向けて、21世紀
への展望と更なる自戒が切望される。

小児糖尿病サマーキャンプ
なぎなた部全国大会で優勝



ユングフラウヨッホ
海外文化・語学研修
青少年の翼に参加して



ユングフラウヨッホ

外国研修を終えて

庶務課長 甲斐幸一

七月二十五日から八月十五日、都合二十二日間の第二十三回海外教育視察団ヨッホパスに参加した。最初の目的である、オランダのアムステルダムに二十五日午後に着。以後、週間は晴天続きでいよいよ明日のユングフラウヨッホの登山が心待ちたれる。

アルプスの麓の村ヴェンゲンには夕方七時過ぎに到着。この日の午後三時に下山して来たと言つた日本人観

光客の「すばらしかつた！明日も大丈夫ですよ」という一言に私たちはどよめき、期待に胸膨らませた。ところが就寝前、外は何やらボツボツ、「雨！明日は晴れることを願いながら床に就いた。翌日、出発の七時頃はまた小雨だったが、予定どおりホテルを降り、電車はゆっくりと急斜面を走り窓の外に目をやると高山植物が咲き乱れていた。途中からトンネルに

入り、二所で停車しアイカーの絶壁にある大きな四角窓から「フィッシャー氷河を目にした。



ヴェンゲンのホテルにて

目的地に着くと手袋・サンダースをつけ、ドアから歩外にでるとそこは吹雪で一面真っ白というより薄いグレイに近く何も見えない。しかしとりあえず一枚写真に収めた。あとは時間はあれども見えず又の機会を期待することにした。帰りは途中のAlmendから徒歩でずぶ濡れになりながらも、花を愛でカウベルの音を耳にしながらホテルに戻った。全日程のうちこの日だけが雨で後は皇帝日和だった。

海外文化・語学研修

真冬のオーストラリアで得たこと
大学 食物栄養学専攻二年 牧園恵理子

以前から機会があれば学生のうちに外国で語学を学びたいと思つていたので今回のメルボルン大学での語学研修は絶好の機会でした。海外に行くのは初めてでしたが不安よりも期待の方が大きかつたように思います。

メルボルンでのホームステイは三週間。午前中は大学で英語の授業、オーストラリア人の先生方の話は私達に興味をもたせ、大変分かりやすいものでした。また、午後は観光やショッピングで充実した楽しい日々を過ごせました。初めはどう話したらよいか判らなかつたホストファミリーとも毎日楽しく会話し、根気よく話を聞いてくれたおかげで、日を追う度に私の英会話力は身についていたように思います。今回の海外研修で実感したのは約



メルボルン大学の前で
(後列右から2番目が牧園さん)

半日飛行機に乗っただけで文化も人種も季節さえも違う場所に行くことができるというところ、考えるだけでなく実行できること、実践力が大切だということ。何よりもそれを肌で感じる事ができたこの研修に参加して本当によかつたと思います。

青少年の翼に参加して。

東南アジア地域の発展過程にふれ貴重な体験
大学 児童学専攻二年 坂名由希子

八月二十日から八月二十四日までの五日間、青少年の翼の団員としてマレーシア・シンガポールへの研修に参加しました。

マレー半島特にシンガポールはアジアの貿易の中継地という事で、様々な人種言語をもつた人々が街を行き交っており、勢いのある活動的な国の印象を受けました。また、至る所で日系企業の看板や製品が見られ、国際進出している日本の現状を感じました。



セントーサ島のオーキッドファンタジーにて
(左側が坂名さん)

この研修で私達は、東南アジア地域の発展の過程を学ぶだけでなく、英語をはじめ他の国の言語を学ぶことの必要性を感じ、自分自身の視野を広げるという意味において、とても貴重な経験を得ることが出来たと思います。

小児糖尿病サマーキャンプ

子どもたちの交流で充実した夏休み

大学 管理栄養士専攻三年 重松 智子

八月十七日から二十四日まで、朝倉郡夜須高原で行われたこのキャンプに、私達は食事を作るために参加しました。

五月頃から献立を考え始め七月にリハサルを行い、八月のキャンプに備えます。キャンプでは朝食、昼食、夕食、夜食の社食を作りますが行事によっては朝早くから弁当を作ったり、外でハイベキ子をしたりハイキングでたくさん料理を作ったり、とハイキナーに奮んだ内容になっています。

子供たちは食事の三十分前にインジコリン注射(糖尿病治療の薬)をするため、食事時間は厳守しなければなりません。少量調理と違い、大量調理は数が多いための切り込みつをとっても時間がかかります。そのため手順と時間に常に気を配って作業しなくてはなりません。昨年より引き続き一度目の参加でしたが



最前列右側が重松さん

今年はメルボルンさんや子供たちとも話せる心の余裕もあり、忙しいながらも、ふと安さを感じたように思います。たくさんの人との関わりの中で考えさせられることも多く、楽しいばかりのキャンプではありませんでしたが、何もしなければ何も出来なかつたこの一年間の夏休みが、大学生活のなかで最も有意義で充実した時間になったのかも知れません。

なぎなた部全国大会で優勝！

全日本学生なぎなた選手権大会「演技競技」の部で

第三十六回全日本学生なぎなた選手権大会が八月三日、富山県で開催され、本学なぎなた部の勝男英恵さんと富谷倫子さんが、「演技競技」の部で見事優勝した。

「演技競技」は、気力・なぎなた・体勢が致して得られる有効打突が決め手となるがこれには、かなりの練習が必要。今大会も接戦となつたが、日頃の努力が実り今回の結果となつた。なぎなた部は部員数七名で、中村学園女子高校角先生の指導のもとで練習を



賞状を持つ勝男さん(右)と、富谷さん

している。少ない部員数で勝ち取つた今回の優勝。今後のさらなる活躍に期待したい。

元気なサークル

(20) 大学華道部



指導者 安川 逸子先生
顧問 白木 静枝教授
部長 吉田 有希
活動日 毎週金曜日
部員数 10名

- 日本女性として伝統文化をたしなむ - 私達大学華道部は、毎週1回金曜日の放課後に、外部から池坊の先生を招いて、お稽古をしています。

私達は、「日本女性として伝統文化をたしなむ」という活動目標を持っていますが、そんなに堅苦しくはなく、みんなお花が好きで集まっています。

週1回だけの練習ですが、先生の楽しいお喋りを聞きながら、とても楽しい時間を過ごしています。

今はまだ、花の値段が高く、身近なものではありませんが、これからは、身近なものになってくると思いますし、ここで花の生け方を身につけておけてよかつたと私達は思っています。

本当に気軽に練習にも参加できますので、興味のある方は、是非一度、見学に来て下さい。



サークル加入状況

今年の加入率は四二・一%

学生課

比較的高いサークル加入率を維持している本学では、今年度も学友自治会を中心として各サークルが活発な勧誘活動を行いました。

六月現在の加入状況は別表のとおりで、全体的には昨年を〇・六ポイント上回る四二・一%の加入率となりました。新入生の加入状況は、大学・短期大学とも昨年度を上回る好結果となりました。在学生については、短期大学の加入率が減少しましたが、これは就職協定の廃止や厳しい就

職状況に対応するためのものと考えられます。各サークルごとの加入状況を見ると、部員数の多寡が著しく体部寸前のサークルも見られますが、これは時代の移り変わりを反映しているように感じられます。

学生課としては、入部して本当に良かったと思われような活発かつ有意義なサークル活動を展開するよう働きかけて行きたいと考えています。

区分	年度	新入生		在学生		合計		%
		在籍数	加入数	在籍数	加入数	在籍数	加入数	
大学	8年度	332	236	1086	574	1418	810	57.1
	9年度	317	253	1080	610	1397	863	61.8
短大	8年度	933	288	940	269	1873	557	29.7
	9年度	838	276	934	194	1772	470	26.5
計	8年度	1265	524	2026	843	3291	1367	41.5
	9年度	1155	529	2014	804	3169	1333	42.1

No	区分	団体名	部員数	大学				短大	
				1年	2年	3年	4年	1年	2年
1	大学	自治会執行部	7	1	5	1	0		
2	短大	自治会執行部	7					0	7
3	大学	代議委員会	49	12	12	13	12		
4	短大	代議委員会	60					29	31
5	合同	学園祭実行委員会	259	78	61	0	0	84	36
計			382	91	78	14	12	113	74
合計			1333	253	258	198	154	276	194

No	区分	サークル名	部員数	大学				短大		
				1年	2年	3年	4年	1年	2年	
1	合同	ソフトテニス部	8	1	0	0	0	4	3	
2	"	テニス部	17	4	4	4	2	1	2	
3	"	剣道部	24	2	2	7	0	6	7	
4	"	卓球部	27	3	10	12	0	1	1	
5	"	弓道部	16	8	2	3	2	1	0	
6	"	なぎなた部	8	0	0	1	1	3	3	
7	"	軟式野球部	24	4	3	6	4	4	3	
8	"	NDA	20	6	3	0	3	6	2	
9	"	合気道部	17	4	2	2	2	6	1	
10	"	バスケット同好会	62	8	9	14	9	18	4	
11	"	バドミントン同好会	40	15	6	9	3	4	3	
12	"	水泳同好会	46	11	23	1	0	7	4	
13	"	ソフトボール愛好会	14	2	1	5	0	3	3	
14	"	陸上愛好会	33	6	10	11	0	0	6	
15	"	サッカー愛好会	26	5	2	9	3	4	3	
16	"	ラクロス愛好会	16	0	6	7	1	0	2	
17	"	ラグビー愛好会	26	4	11	1	5	1	4	
18	大学	ワンダーフォーゲル部	15	4	0	3	8	0	0	
19	"	女子バレー部	30	9	9	9	3			
20	"	男子バレー部	22	2	5	8	4	3		
21	短大	短大バレー部	9					3	6	
計				500	98	108	112	50	75	57
1	合同	マンドリンクラブ	13	2	0	2	4	5	0	
2	"	書道部	5	0	0	2	2	1	0	
3	"	児童文化部	29	10	0	10	4	5	0	
4	"	ユースホステルクラブ	26	7	2	1	0	12	4	
5	"	クリスタルハーモニー	32	4	11	2	4	2	9	
6	"	箏曲部	12	7	2	0	3	0	0	
7	"	演劇部	17	6	0	2	2	0	7	
8	"	美術部	31	2	8	1	17	2	1	
9	"	軽音楽部	17	6	5	2	3	1	0	
10	"	漫画研究部	16	4	1	0	1	6	4	
11	"	吹奏楽同好会	7	0	0	7	0	0	0	
12	"	キャラバン竹とんぼ愛好会	6	0	0	1	5	0	0	
13	"	夢を見よう会愛好会	23	0	0	7	16	0	0	
14	大学	華道部	10	0	1	6	3			
15	"	写真部	13	3	4	6	0			
16	"	社会福祉研究会	74	8	22	19	24	1		
17	"	裏千家茶道部	19	2	13	4	0			
18	"	心理学研究部	0							
19	"	和歌愛好会	4	0	0	0	4			
20	短大	華道部	7					0	7	
21	"	表千家茶道部	3		3			0	0	
22	"	食物研究部	23					11	12	
23	"	社会福祉部	30	3				13	14	
24	"	写真部	26					26	0	
25	"	裏千家茶道部	8					3	5	
26	"	放送同好会	0							
計				451	64	72	72	92	88	63

学友自治会活動から

サークル活動の円滑化や地域との交流に積極的取り組みたい

大学 管理栄養士専攻三年 杉村佳穂(大学学友自治会長)

中村学園の学友自治会は、現在大学学友自治会が八名、短大学友自治会が十名で運営しています。

学内の活動としては、新入生歓迎運動会、前期・後期総会、サークル活動を円滑に行うためのキャンパス会議、リーダー研修会があります。

五月三十一日、自治会主催で新入生歓迎運動会を行いました。スポンサーは少なく、全員が何から始めてよいのか分からないまま準備が進みました。

幸い当日は天気もよく、新入生だけでなくサークルの参加もあり、多種多様の競技に多くの学生が汗を流していました。また、多くの教職員の方々にも見学していただくことができ、満

足のいく運動会となりました。今回の運動会の開催に当たり、いろいろな苦勞がありました。が無事に終えることができ、大変よかったです。多くの新入生の参加があったことで、今後の新入生の活躍に期待したいと思いをします。また来年は、スポンサーの充実を図り、より盛大な運動会を開催し、新入生を歓迎したいと思いをします。

六月には前期総会を行い、決算予算の報告、運動会の報告をしました。大学の学友自治会長、代議委員長は十一月の選挙により、十一月の後期総会を経て役員を含め交替することになります。

一方、サークルについての活動では、



新入生歓迎運動会

毎月キャンパス会議を行い、書類について話したり、清掃を促したり、細かい注意や報告をしたりしています。また、十一月には各サークルのキャンパスと会計で泊りの研修を行っています。

前回の研修会では、学生課とのリーディングがあり、意見交換や質問なども行いました。他に書類の書き方、サークル規約について説明しました。また、サークル内だけの交流を持のてではなく他のサークルとの交流を深めてもらうために、レクリエーションを行いました。

研修会初日にはサークルの代表である、自分が見られなかったものの、時間が経つにつれ、表情がひきまじり、リーダーとしての心構えを修得したように思えました。

学外の活動は、地域の交流を図る場と他大学との交流があるのみです。中村学園の良い所を知ってもらうためにも積極的に行動していきたいと思いをします。

もうすぐ学園祭

大学 児童教育学専攻二年 大石和典(学園祭実行委員長)

今年の学生による祭典、第三十二回霜月祭は十月三十一日(金)〜十一月二日(日)の三日間行われます。今年はいしもつぎつち〜楽しみ方はあなただけ 期間限定霜月祭」というテーマに決まり、学園祭実行委員一同、良き学園祭を作ろうと頑張っています。

今年も学園祭期間中、正面玄関

付近に、ただものではない大きなシンボルタワーを展示する予定です。その制作に向けて、夏休み期間中も連日土台作りに励みました。

また今年の学園祭の一番の目標は、たくさんの方が来てくれるような学園祭を作ることです。そのためには、どういった企画が来場者の心をつかむことができるのか、そして、どういった企

画をお客さんは望んでいるのかを検討してきました。

今年も、中村学園の特色を生かせるようなものを企画しています。ご期待下さい。

それでは、学園祭実行委員一同みなさまのご来場を心よりお待ちしております。友達、ご家族お誘い合わせの上、お越し下さい。



作業も追いつき込みに入った。



健康生活 のススメ

26

食物栄養学科・食物栄養科
助教授 古賀靖子

1996年12月厚生省公衆衛生審議会は、従来までの「成人病」という呼称を「生活習慣病」に改めることを発表した。「成人病」という用語は1957年頃から使われはじめた造語で、責任の大半を加齢にかぶせ自己責任を逃れてきたきらいがあった。

「生活習慣病」は若年からの食生活を中心とした健康な生活習慣で予防でき、自己努力(自己責任)に負うところが大きいとされている。もちろん、遺伝因子、ストレス、その他の生活環境因子によるところもあるが、

話は変わるが、ガンが日本人の死因の第一位になったのは1981年以降のことで、ほぼ4人に1人がガンで死亡している。これは、ひとつには日本人の寿命が長くなったことが関係している。

私は、1987年にガンを患った。部位は大腸で、罹患率が5～10%の盲腸周辺であった。

これを機に生活習慣の見直しを行い 家庭では魚中心料理 ウォーキングを中心とした運動を行う、ゆとりをもった日常生活を心掛ける、などといったものを実行することにした。

外食の多い昨今、肉や油は外食にお任せして魚・野菜たっぷり料理、特に活性酸素に果敢に立ち向かうスカベンジャー(掃除屋)の一つであるビタミンCを豊富に摂取するため家庭菜園を始める。また、学園地域に居を構えていることを最大に活用し、週2～3回のグランドでの40～50分の速歩、趣味の週1回の茶道とボランティア活動でストレス解消といった健康生活習慣を心掛けている。

高齢者になってもアクティブな生活を送ることが大事ではなかろうか。

[貸借対照表 平成9年3月31日]

資産の部 (単位:円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	19,215,060,667	19,046,896,651	168,164,016
有形固定資産	17,841,186,815	17,837,754,342	3,432,473
土地建物	7,266,053,864	7,261,536,574	4,517,290
構築物	8,625,040,831	8,783,018,486	157,977,655
教育研究用機器備品	409,398,851	368,672,046	40,726,805
その他の機器備品	473,896,224	441,958,950	31,937,274
図書	85,730,949	56,558,534	29,172,415
自動車	924,749,084	878,176,863	46,572,221
建設仮勘定	1,207,012	4,222,889	3,015,877
その他の固定資産	55,110,000	43,610,000	11,500,000
負債の部	1,373,873,852	1,209,142,309	164,731,543
借入金	2,405,317	2,405,317	0
有価証券	1,131,832,995	1,006,591,252	125,241,743
収益事業元入金	20,000,000	20,000,000	0
長期積立基金	28,824,640	27,223,640	1,601,000
長期貸付金	180,900	92,100	88,800
流動負債	2,000,000	0	2,000,000
第3号基本引当金	188,630,000	152,830,000	35,800,000
流動資産	5,940,827,496	4,824,648,865	1,116,178,631
現金・預金	5,303,495,860	4,223,109,042	1,080,386,818
有価証券	200,000,000	191,623,102	8,376,898
特定金銭信託	300,000,000	300,000,000	0
未収金	131,690,666	106,415,914	25,274,752
未払金	5,640,970	3,500,807	2,140,163
資産の部合計	25,155,888,163	23,871,545,516	1,284,342,647

負債の部 (単位:円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,354,622,082	2,580,662,320	226,040,238
長期借入金	1,152,741,000	1,414,950,000	262,209,000
退職給与引当金	1,201,881,082	1,165,712,320	36,168,762
流動負債	1,727,407,329	1,823,307,090	95,899,761
短期借入金	262,209,000	266,249,000	4,040,000
未払金	147,218,299	148,890,876	1,672,577
未前受金	1,145,689,000	1,241,883,500	96,194,500
預り金	167,388,964	160,606,320	6,782,644
仮受金	4,902,066	5,677,394	775,328
負債の部合計	4,082,029,411	4,403,969,410	321,939,999

基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	20,684,339,543	20,138,764,864	545,574,679
第3号基本金	188,630,000	152,830,000	35,800,000
第4号基本金	317,000,000	317,000,000	0
基本金の部合計	21,189,969,543	20,608,594,864	581,374,679

消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	116,110,791	1,141,018,758	1,024,907,967
消費収支差額の部合計	116,110,791	1,141,018,758	1,024,907,967

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	25,155,888,163	23,871,545,516	1,284,342,647

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 4,461,286,152円
 2. 担保に供されている資産の種類及び額は次のとおりである。
 土地 1,226,475,692円
 建物 373,788,327円
 有価証券 100,000,000円
 計 1,700,264,019円
 3. 退職給与引当金の算出方法は、次のとおりである。
 法人本部・大学・短大は期末要支給額1,085,965,000円から私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。高等学校以下は期末要支給額891,410,000円から、私学退職金団体よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。
 4. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うことになる金額 1,414,950,000円

前年度に対し十二億八四〇〇万円(五三%)の増加となりました。
 負債の部は長期借入金金の返済や前受金等の減少により四〇億八二〇〇万円

となり、前年度に対し三億二〇〇万円(七三%)の減少となりました。
 資産総額から負債総額を差引いた正味財産は二〇億七、三〇〇万円(前年

度より二億六〇〇万円(八二%)増加しました。
 以上が平成八年度における収益事業部会計を除く本学園の決算概要ですが

今後とも財政の健全化に向けて自助努力を続けたいと考えております。皆様の協力をお願いいたします。

等施設の充実をはかりました。

支出の部で主なものは、

水仙寮冷暖房工事

第一第二種中庭環境美化工事

運動場ハコケツツ下の建て替え

西側棟建て替え

第一集給及び第一学生ホールの改修費

その他研究室並びに実習室の冷暖房設備等教育環境の整備に努めました。

「女子中学校・高等学校」

女子中学校・高等学校の収入は受験者数の減少に伴い、手数料収入の減補助金収入は前年度に対し二八%の増となりました。

支出の部では、

情報処理センターの汎用コンピュータ及びパソコンシステムの更新

学内LANの構築

特別交付金の増額及び資産運用収入の増により、当年度の収入合計は予算に対し九七〇〇万円の増額となりました。

支出の部の主なものは、

「大学院・大学・短期大学関係」

収入の部では、入学生志願者の増加に伴う手数料収入の増額、補助金収入の増により、当年度の収入合計は予算に対し九七〇〇万円の増額となりました。

支出の部の主なものは、

「三陽中学校・高等学校」

三陽中学校・高等学校は納付金の部を改定しました。補助金収入は前年度より三六%の減少となりました。

支出の部の主なものは、

中学校・高等学校の学校紹介ビデオ制作費

中学校の校章の取り付け費

三陽高等学校の創立十周年記念行事費及び中村久雄顧問胸像の建立費等があります。

以上が各学校の主な事業ですが学園全体としての収入の部は手数料収入補助金収入前受金収入等の増により予算に対し一億一八〇〇万円の増額となりました。

支出の部では教育研究経費支出管理経費支出施設設備関係支出等予算残となりましたが有価証券購入支出により予算に対し一七〇〇万円の支出超となりました。

当年度収入の部合計から当年度支出合計を差引いた次年度繰越支払資金は五三億三〇〇万円となり、予算に対し一億〇〇〇万円の増額となりました。

二、消費収支計算書

学園全体の繰属収入合計は前年度に対し五七〇〇万円(〇九%)増加となり、消費支出合計は七〇〇〇万円(二五%)の増となりました。

基本金組入額は自己資金で取得した施設設備関係支出及び借入金返済支出等の合計で五億八二〇〇万円となり、消費収入の部から消費支出の部合計を差引いた当年度の消費収入超過額は一億一五〇〇万円となりました。これに、前年度繰越消費支出超過額が十億四二〇〇万円ありますので、差引き翌年度繰越消費支出超過額は一億六〇〇万円となり、年々改善されております。

三、貸借対照表について

資産の部では現金・預金の増加により資産総額は五億五、五〇〇万円となり

消費収入の部

消費支出の部

消費収入の部合計

消費支出の部合計

消費収支差額の部合計

[平成8年度消費収支計算書 平成8年4月1日から平成9年3月31日まで]

消費収入の部 (単位:円)				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒納付金	4,474,370,000	4,473,381,950	988,050	
手数料収入	163,040,000	171,903,490	8,863,490	
寄附金収入	18,860,000	25,376,315	6,516,315	
(現物寄附金)	(7,120,000)	(12,383,484)	(5,263,484)	
補助金収入	1,112,130,000	1,194,323,426	82,193,426	
資産運用収入	82,230,000	99,119,146	16,889,146	
事業収入	183,940,000	192,253,135	8,313,135	
雑収入	136,260,000	162,017,423	25,757,423	
繰属収入合計	6,170,830,000	6,318,374,885	147,544,885	
基本金組入額合計	590,050,000	581,374,679	8,675,321	
消費収入の部合計	5,580,780,000	5,737,000,206	156,220,206	

消費支出の部 (単位:円)				
科目	予算	決算	差異	
人件費	3,377,220,000	3,367,636,165	9,583,835	
(退職金給与引当金繰入額)	(156,470,000)	(156,414,012)	(55,988)	
教育研究経費	1,072,170,000	1,011,550,009	60,619,991	
(減価償却額)	(338,730,000)	(338,262,827)	(467,173)	
管理経費	286,850,000	276,395,130	10,454,870	
(減価償却額)	(63,000,000)	(62,969,968)	(30,032)	
借入金等利息	54,940,000	54,912,087	27,913	
資産処分差額	1,630,000	1,598,848	31,152	
(1,260,000)				
[予備費]	13,640,000		13,640,000	
消費支出の部合計	4,806,450,000	4,712,092,239	94,357,761	
当年度消費収入超過額	774,330,000	1,024,907,967		
前年度繰越消費支出超過額	1,141,010,000	1,141,018,758		
翌年度繰越消費支出超過額	366,680,000	116,110,791		

[平成8年度資金収支計算書 平成8年4月1日から平成9年3月31日まで]

収入の部 (単位:円)				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒納付金収入	4,474,370,000	4,473,381,950	988,050	
手数料収入	163,040,000	171,903,490	8,863,490	
寄附金収入	11,740,000	12,992,831	1,252,831	
補助金収入	1,112,130,000	1,194,323,426	82,193,426	
資産運用収入	82,230,000	99,119,146	16,889,146	
事業収入	183,940,000	192,253,135	8,313,135	
雑収入	136,260,000	162,017,423	25,757,423	
前受金収入	1,125,350,000	1,145,689,000	20,339,000	
その他の収入	106,380,000	113,198,558	6,818,558	
資金収入調整勘定	1,332,830,000	1,373,574,166	40,744,166	
前年度繰越支払資金	4,223,100,000	4,223,109,042	9,042	
収入の部合計	10,285,710,000	10,414,413,835	128,703,835	

支出の部 (単位:円)				
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	3,341,240,000	3,331,467,403	9,772,597	
教育研究経費支出	733,440,000	673,287,182	60,152,818	
管理経費支出	223,850,000	213,425,162	10,424,838	
借入金等利息支出	54,940,000	54,912,087	27,913	
借入金等返済支出	266,250,000	266,249,000	1,000	
施設関係支出	214,970,000	206,781,510	8,188,490	
設備関係支出	199,490,000	187,099,122	12,390,878	
資産運用支出	37,520,000	171,108,441	133,588,441	
その他の支出	151,610,000	153,806,367	2,196,367	
(360,000)				
[予備費]	14,540,000		14,540,000	
資金支出調整勘定	154,460,000	147,218,299	7,241,701	
次年度繰越支払資金	5,202,320,000	5,303,495,860	101,175,860	
支出の部合計	10,285,710,000	10,414,413,835	128,703,835	



平成九年度科学研究費 補助対象研究が決定

今年度九件に交付

- 文部省から交付される平成九年度の科学研究費補助金が、次のとおり決定した。(平成八年度からの継続分は除く)
- 基礎研究(C)(2)
 - 城田 知子教授(代表)
 - 楠 喜久枝教授(分担)
 - 篠原 章子助手(分担)
 - 〔研究課題名〕久山町高齢者の栄養状態に及ぼす栄養素摂取とその加齢による変化の研究
 - (補助金交付額)七十万円
 - 西岡 弘晃教授
 - 〔研究課題名〕近代中国における都市化と水利問題
 - (補助金交付額)九十万円
 - 藤田 守教授(代表)
 - 山元 実男教授(分担)
 - 馬場 良子助手(分担)
 - 松隈 美紀助手(分担)
 - 近江 雅代助手(分担)
 - 〔研究課題名〕食物アレルギーの発症機序と腸の防御機構に関する免疫組織化学的・超微形態学的研究
 - (補助金交付額)七十万円
 - 原 孝之助教授(代表)
 - 古賀 信幸助教授(分担)
 - 〔研究課題名〕食生活による動脈硬化予防の新視点 HDL レセプターとの関連
 - (補助金交付額)百七十万円
 - 三成 由美助教授(代表)
 - 〔研究課題名〕生薬を利用した骨粗鬆症予防食「ロラム」の評価
 - (補助金交付額)百万円
 - 奨励研究(A)
 - 笠原 正洋講師
 - 〔研究課題名〕育児相談に関する保育者の認知行動過程および保護者への影響過程に関する基礎的研究
 - (補助金交付額)百万円
 - 竹嶋美夏子助手
 - 〔研究課題名〕動脈硬化予防に果たす高密度リポタンパク質「セプター」の役割と関連する食事因子
 - (補助金交付額)百万円
 - 馬場 良子助手
 - 〔研究課題名〕食物性アレルギーの消化管内侵入経路に関する免疫組織化学的・超微形態学的研究
 - (補助金交付額)八十万円
 - 大和 孝子助手
 - 〔研究課題名〕冷感性の成因に関する基礎的研究 若年女性および小動物における女性ホルモンと皮膚温・血流量との関係
 - (補助金交付額)百万円
 - 研究分担者の掲載は、学内の研究者のみを掲載。

特別講座「プロの料理人による料理示範」

好評の内に第二回目を終了。第二回目の示範は鉄人・陳建一氏。「食」に携わるものとして、「調理する」と「への関心を高めると共に豊かな感性を育む」ことを目指し、昨年から食物栄養学科、食物栄養科の学生を対象として、料理のプロによる特別講演並びに料理示範を実施しています。今年度第二回は東京ロイヤルパークホテル総料理長嶋村光夫氏を迎えて七月十一日(土)に行いました。

現在、日本の西洋料理界の第一人者である嶋村氏は、身近な素材を斬新で獨創性に富み、現代の健康指向にあつた魚介類や野菜を多く使った、最新「フレンチ料理」を披露されました。調理済み加工食品が氾濫する今日、料理することは創造の喜びであるとともに、食べる人々に感動を与えるような料理づくりなど、長年の料理長としての経験談は、「料理の真髄」にふれるものでした。



第1回目嶋村光夫氏の料理示範から

一冊の本

アンジュール ある犬の物語



家政科
助手 末次 裕子

私のお気に入りであるこの本は絵本である。今さら絵本と思われそうだが、この本を開くたびに毎回違った感動を心に覚えるのである。話はサブタイトルの如くある犬(アンジュール)の物語。ある日、走る車中から飼い主に捨てられてしまうところからはじまる。

物語は、鉛筆デッサンだけで展開される。色もなく、言葉もない。その鉛筆の線は幾重にも重ねられ、飼い主の車を求めて走る犬の様は真に迫る勢いである。

一転してのら犬のアンジュール。あきらめ、さまよい歩く姿は哀愁にみち、空にほえる悲しい遠吠えが聞こえる。変わりゆく空の色が時の経過を教える。飼い犬ただだけに、人恋しい...。そして...

などと言ってはいるが、デッサンだけなので、これは私の思い込みの内容である。

絵本とは縁遠い歳になってしまったが、時々、絵本コーナーをのぞいてみる。小さい頃夢中で見ていた本もあつたりして、ワクワクする。影に隠れてしまった小さな頃の素直な気持ち、豊かな創造力を思い出す。

第六回アジア栄養科学 ワークショップ開催

第六回アジア栄養科学ワークショップ(主催 中村学園大学栄養科学研究会 協賛 日本コカ・コーラ株式会社)が十月二十九日(土)曜日に本学の西三号館十階大会議室を会場に、午後一時より五時まで開催されます。

近年、科学的トレーニング法が明らかになるとともに、根性論だけでは世界に通用する選手になれないことが明白になってきています。栄養補給についても、トレーニング内容に合わせて合理的に行わなければ、期待する効果が得られないことが分かってきました。そこで、本年度は本学の山藤圭子教授が議長となり、勝つための「水・栄養」をテーマにこれからの分野に関して「トク」な研究をされている方々による講演やパネルディスカッションを行うことになりました。講演の内容

容は左記の通りです。

- 一、スポーツ栄養の現状
- 二、鈴木正成教授(筑波大学体育科学系) 鈴木正成教授(筑波大学体育科学系) 二、体育大学でのスポーツ栄養の取り組み
- 三、萩原純雄教授(鹿屋体育大学体育学部健康教育学) 今村裕行助教授(中村学園大学食物栄養学科)
- 四、オリンピック選手への栄養 奈良典子管理栄養士(明治製菓株式会社バスケスポーツ&コトリス) ヨシノ(水)

このワークショップは研究者・一般市民本学の学生の皆さんを対象に毎年開かれており、参加は無料です。問い合わせ先

中村学園大学 庶務課

教職員の動き

- 退職
- (平成九年四月三十日付) 山田 香 庶務課課員
 - (平成九年五月三十一日付) 鬼鞍 弘明 法人本部 総務部長
 - (平成九年六月三十日付) 池田 英亨 吉岐幼稚園事務職員
 - (平成九年九月三十日付) 軸屋しおり 新 任 経理課課員
 - (平成九年五月一日付) 赤司 博文 広報室室員
 - 餅田 国広 管財課課員
 - 松岡 由一 障寮労務職員
- 嘱寮労務職員
- (平成九年七月一日付) 松岡 静子 教務課係長
 - 昇任・昇格・配置転換等
 - (平成九年五月一日付) 古賀 博昭 法人本部 総務部長付
 - 辻原 陽一 (経理課長補佐) 企画調査室係長
 - 小川 康生 (広報室係長) 学生課係長
 - 宮元 純孝 (教務課係長) 図書課係長
 - 橋原 伸一 (学生課係長) 城南寮労務職員
 - 波多江江子 (障寮労務職員)

海外出張の記録

- 氏名・職名 訪問国・期間 目的
- 笠井キミ子 教授 イギリス H9.7/11~7/25 第四回国際声楽指導者会議
 - サミュエル・マイヤー ホフ 講師 カナダ H9.7/24~8/17 教育教授法研究のため
 - 谷口巳佐子 教授 カナダ・アメリカ H9.7/25~9/6 第十六回国際栄養学会議
 - 城田 知子 教授 カナダ H9.7/27~8/3 第十六回国際栄養学会議研究発表
 - 今村 裕行 助教授 カナダ H9.7/27~8/3 第十六回国際栄養学会議研究発表
 - 伊藤 和枝 教授 カナダ H9.7/27~8/3 第十六回国際栄養学会議研究発表
 - 木原美樹子 講師 木原美樹子 講義
 - オーストラリア H9.8/1~8/27 「英語・文化海外研修」引率
 - 古賀 靖子 助教 アメリカ H9.8/13~8/26 アメリカ在住の日本人の食生活状況調査、摂取量調査等
 - 原 孝之 助教 アメリカ H9.8/18~8/27 第十回チトワロムP 450 国際会議研究発表
- 中村学園短期大学の名称変更について
- 平成十年四月二日から変更の予定 中村学園短期大学の名称は、名称変更届出後、平成十年四月日から中村学園短期大学から中村学園短期大学へ変更の予定です。
- (新名称) 中村学園短期大学部 (旧名称) 中村学園短期大学
- MCQUARRIE 大学においての言語学に関する研修及び資料収集
- H9.9/23~9/27 中国 H9.9/11~9/19 上海 北京の中学校において価値意識調査実施、卒業指導学生の上海北京における幼稚園調査の指導
 - 那須 信樹 講師 中国 H9.9/11~9/19 上海 北京の幼稚園調査
 - 廣畑 富雄 教授 イギリス・アメリカ H9.9/28~10/12 食物・栄養とがん予防報告書公表と勧告のカンファレンス
 - 中谷 安男 講師 オーストラリア H9.9/23~9/27



セロリ「CELERY」は、野菜の中でも最も古い歴史を持ち、ギリシャ文学の初頭を飾る2大叙事詩のひとつ「オデュッセイ」の中にセリオンの名で見られます。本学では、校章にもセロリを図案化しており、本広報誌の名称にも採用しています。



セロリ 第28号 1997年10月29日発行
編集：中村学園大学・中村学園短期大学 広報室
〒814-01福岡市城南区別府5-7-1
TEL 092-851-2531

〔ホームページアドレス〕<http://www.nakamura-u.ac.jp/>